

平成17年10月26日

報道機関各位

東北大学大学院情報科学研究科

国内で2人目の米国電気電子学会計算機科学教育賞を受賞

東北大学大学院情報科学研究科 中村維男教授が2004年 IEEE Computer Society (米国電気電子学会計算機ソサイエティ)のテイラー・ブース計算機科学教育賞を受賞し、このほど10月21日(現地時間)米国インディアナ州において、授賞式が行なわれた。

米国電気電子学会は、世界各国に36万人の会員を持ち、電子工学分野で世界的に最も権威がある学会の一つである。テイラー・ブース賞は、同学会の計算機科学部門が毎年、計算機科学や計算機工学における教育の分野で卓越した業績を上げた個人1名に贈るものである。国内からの受賞は2人目。

今回の受賞では、中村教授の業績のうち、国内では、東北大学、弘前大学、会津大学など、海外ではスタンフォード大学で情報科学教育と研究のさらなる充実、発展に尽力し、多数の大学教員を日米の大学に送り出したこと、ならびに、1997年から低電力マイクロプロセッサの国際会議(COOL Chips)を組織し、IT分野の発展を支えたことが高く評価された。

中村教授は、1944年山口県宇部市生まれ。1988年から東北大学教授。1994年からは米国スタンフォード大学客員教授を兼任している。

(お問い合わせ先)

東北大学大学院情報科学研究科

担当： 鈴木健一 022-795-7012

江川隆輔 022-795-7013